

琴を聞いているように心が和らく「琴弾の滝」



九州自然歩道の旅⑥

福島 優

前回(12月19日付)は、全長約3千キロの「九州自然歩道」で福岡県の香春町から赤村までの歩き旅でした。今回は添田町へと歩を進めます。

山道を抜け、赤村の大伊良地域に出ると民家裏手の畑でした。いきなり畑に出たのでびっくりしましたが、こんな所も通るのが九州自然歩道。脇のあぜ道を歩いて抜けて行きます。好天気の中、田んぼを見ながらのんびり歩くのも風情があつていいですね。

川に合流したら特牛岳へと向かいます。道中、坂を少し登った所に「琴弾の滝」があります。

赤村—添田町



滝、森…自然の音体感

コースから少し離れているため、今回は見送り。他にも「平山の池」や「ハジカミ淵」など寄り道してみたいところですが、これらも次回楽しみに。特牛岳は標高約690mの赤村一の高山で英彦山(1200m)などが望めますが、九州自然歩道のコースは特牛岳中腹の平山地域を通り、添田町の田代地域へ下りて行きます。

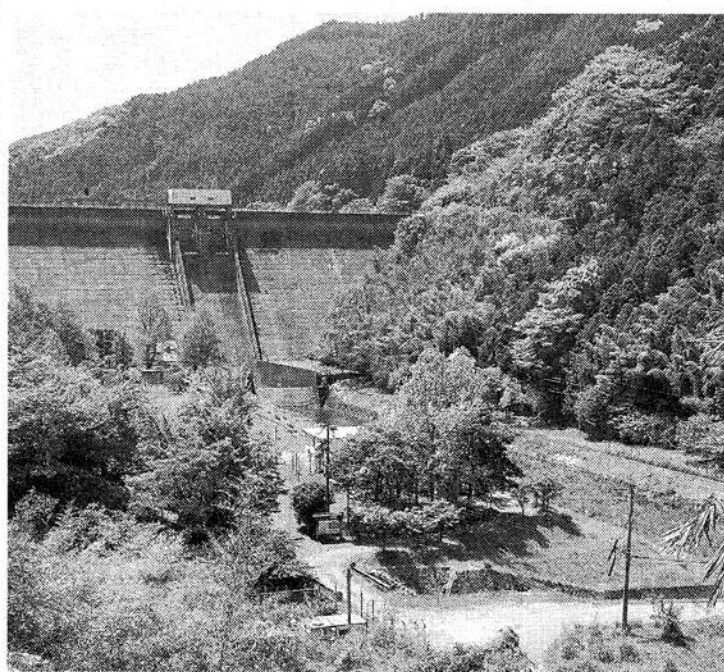


ここからは登山道の下り道。落ち葉が多いので滑らないように慎重に下ります。いったん舗

装路に出るも再び登山道へ。倒れた木々や岩などをよけながらの道。残念ながらここは通る人が少なく、道が荒れています。ところどころに立っている九州自然歩道の看板を見ながら下りて行きます。人声や車などの音がしない林の中だったので、鳥たちの鳴き声、さざめく木々の音を感じられます。

そしてついに舗装路へ出ました。添田町迫田です。人里に出るとホッとしますね。迫田から

再び気持ちを引き締め、さらに坂を登ります。人通りはおろか車さえもほとんど通らない道をひたすら進んでいきます。途中「大音の滝」がありますが、



公園やトイレが併設される油木ダム。歩き旅では、休憩処として助かる

麓へと歩を進めます。(九州自然歩道フォーラム会員 〓福岡市)

〓毎月第3木曜掲載